

inter-view

曾我部 栄治さん

(株)テクノマジック社長)



M_{oat}

従来は本社・入野・長津の3工場体制だったが、好調な受注を受け、現状ではスペース面も含めて拡大は困難と判断。作業の効率化や交通面も含めた安全性、従業員等の駐車場

—本社工場建設の経緯は

ど、すこぶる好調
な足取りにある。

新社屋及び本社工場が今年3月末に完成。これに伴い本社移転とともに既存の3工場を統合し全面移転を行つた。延べ床面積で倍増となり、すこぶる好調とする受注環境への体制強化が図られた。さらに次なるステップを見据え、「今後は自社商品の開発にも取り組みたい」と新たな企業戦略を打ち出す。

――経歴は

新居浜市本社の伊予電子（現サイバー）に20歳から約20年間勤務。松下寿電子のビデオ等の生産ライン設計を手掛けたほか、後半は住友重機械工業を担当した。エンジニアとして独自の仕事を手掛けたいとの強い思いもあり退職。平成9年にテクノマジックを四国中央市で個人創業した。

聖經

注環境への体制強化が図られた。
さらに次なるステップを見据え、
「今後は自社商品の開発にも取り組
みたい」と新たな企業戦略を打ち
出す。

—企業概況は

自社商品開発でさらなる経営基盤強化へ

は構想している。

とし、建設機械も含め、マグネット電源など各分野に及び国際化を誇っている。装置だけではなく、オーリジナル設備機器業務も行っている。

器械関連電源は横ばいと、来年2～3月まで好調で、来年一杯の受注を抱えるなど、すこぶる好調な足取りにある。

■ 本社工場建設の経緯は

従来は本社・入野・長津の3工場体制だったが、好調な受注を受け、現状ではスペース面も含めて拡大は困難と判断。作業の効率化や交通面も含めた安全性も含めた安全性能を高めるため、新工場建設が決定した。

新工場建設の目的は、従来比で倍増と大幅に拡張した。医療機器の組立工場となるため、作業環境面においても最新工場とした。また設計部門や部品倉庫棟は既存建物（床面積900平方㍍）をリフォームし活用。総投資額は土地購入費含めて約2億5000万円だが、将来に対する先行投資として捉えている。3月末の完成に伴い本社を移転。また既設の3工場を統合した。組織も有限から株式に変更した。本社工場では制御基板の製作と組立後の試験・検査を行う。

また現在は住友重機械工業での試験を実施しているが、本社工場完成を機に、今年8月メドに自社工場にシフトさせる計画で準備を進めている。

■ 増設予定は

現状下ではスペース的にも十分に対応できると思う。ただ住友重機械工業メカトロニクス事業部との取引も新たに開始される。そ

は構想している。
——今後の展望は
現在は住友重機械工業との関係
が深く二人三脚体制といつても過
言ではない。この関係は今後とも
に強化・維持に努めていきたい。
だが他方では、もう一つ柱となる
事業の育成で、さらなる経営基盤
強化を図りたい。従来、住友重機
械工業で電源開発を担当してきた
人が1月に定年退職したのを機に、
弊社の顧問に就任して頂いた。今
後は知恵を借り、オリジナル商品
の開発を手掛けたい。未だ構想段
階だが、カスタマイズが短期間で
可能な商品を計画中で来年までに
は実現化を図りたい。メーカー体
制確立により、会社イメージや知
名度向上を目指し、人手不足解消
や将来を見据えた優秀な人材確保
に繋げていきたい。